

生活にリズムを！

「早寝早起きをする」「朝食をきちんと食べる」など、規則正しい生活リズムが日々の子どもの生活を充実させ、家庭学習の習慣化につながります。

「がんばり」を見のがさずに！

子どもの学習に目を向け、必要な声かけや見届け（点検）を行いましょう。ねばり強い努力を本気でほめましょう。

勉強時間を決めて！

最初は短く、だんだん長く。目安は15分×学年（中1は「7」として計算します）です。テレビを見ながら、おやつを食べながらはやめましょう。

すすんで学ぶ好奇心を！

身のまわりや社会の出来事に目が向くように働きかけましょう。PTA行事や地域行事への参加をすすめましょう。

読書に親しむ！

まずは家庭での読書や読み聞かせをしましょう。図書館や書店で本との出会いも楽しいものです。

情報（インターネット）との正しいつきあい方を！

役立つ道具ですが、同時に危険性もあわせてもっています。ルールを守り、家族の目の届くところで楽しく使わせましょう。

一緒に家事を！

家族の一員としての責任感と自立心を育てましょう。家族が協力して家事を行うことで、それぞれの大切さを学びます。

先生と連絡を！

わからないこと、困ったことは、遠慮せずに先生に相談しましょう。子どもたちのことを、先生と一緒に考えてみましょう。

「教育」とは、社会に出ていく子どもたちの「生きる力」をはぐくむことであり、そのためには、「知育、徳育、体育」のバランスのとれた教育を行う必要があります。

生活リズムの確立や規範意識・マナーの育成など基本的な生活習慣の確立が「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」の土台であります。

みんなで、「当たり前」のことが「当たり前」にできる。いわゆる『ほんじてってい凡事徹底』を教育のあらゆる場で推進していきましょう。